

# 施策1 広域・滞在型観光の推進 -1-1



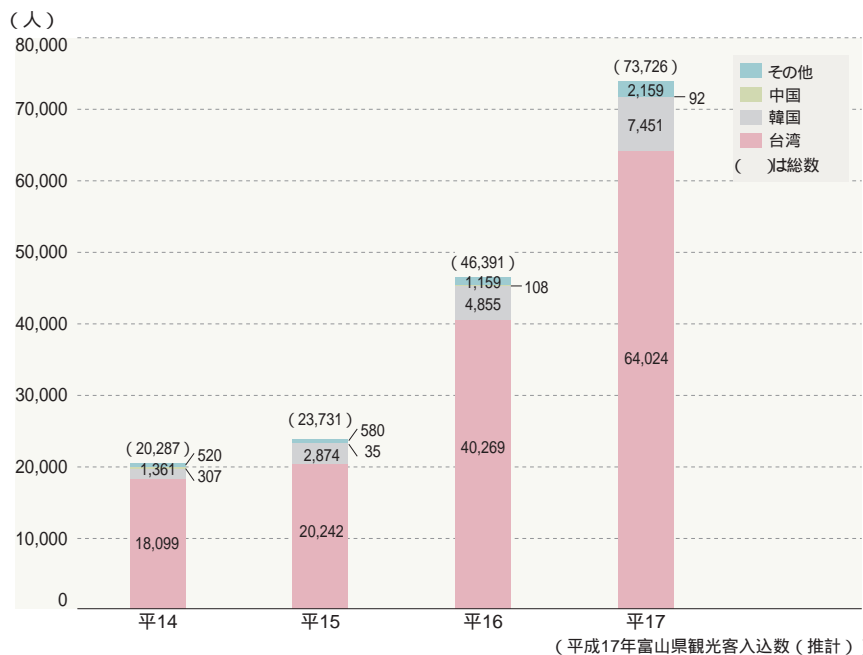
## 現状と課題

本市では、道路や鉄道、空港などの交通の基盤整備が進んでおり、今後も北陸新幹線や地域高規格道路<sup>1</sup>などの高速交通網の整備により、国内外からの観光客の増加が見込まれます。

このことから、立山黒部アルペンルートなどへの発着点としての役割に加え、隣接県などの観光地を周遊する際の滞在拠点として選択されるよう、広域的な視点にたった観光施策の展開が必要となっています。

このため、周辺市町村との連携により、お互いの資源を活用・補完しながら滞在型観光に向けた環境の整備を推進する必要があります。

立山黒部アルペンルートの訪日団体観光客数



**1 地域高規格道路** 高速自動車道路などと一体となって高速交通体系の役割を果たし、地域構造を強化する道路で、自動車専用道路もしくはこれと同等の高い規格を有し、60～80km/hの高速サービスを提供できる道路として整備される。

## 目標とする指標

指標とその説明	基準数値(年度等)	23年度目標数値	目標設定の考え方
外国人観光客入込数 富山空港国際線の外国人降客数	34,330人 (17年)	46,000人	外国人観光客の誘致を進め年間2,000人程度の増を目指す。
ホテル旅館等の 宿泊者数 ホテル・旅館の延べ宿泊者数	1,783,005人 (17年)	1,933,000人	広域・滞在型観光を推進し、ホテル・旅館の宿泊者について、年間25,000人程度の増を目指す。

## 施策の方向

### 富山らしい滞在型観光の推進

来訪者が本市で多様な過ごし方ができるように、豊かな自然を生かしたグリーン・ツーリズムやエコ・ツーリズム<sup>2</sup>などの体験型観光のほか、医薬品製造業やエコタウンをはじめとした富山の特色ある産業や企業などを紹介する産業観光を促進するなど、滞在メニューの充実を図ります。

また、ぶり街道推進協議会や立山黒部観光宣伝協議会などの広域観光推進組織と連携を図りながら周辺観光地を含んだ魅力的な周遊モデルルートを構築し、広域滞在型観光の推進に努めます。

本市の観光の将来像や施策の方向、さらには実践的な取り組み内容を明らかにして施策を展開するため、富山市観光実践プランを策定し、本市の立地特性を活かした

観光の推進に努めます。

### 外国人観光客の誘致促進

外国人が安心して滞在できる都市としての魅力を高めるため、外国語表記の案内板や外国語パンフレットの充実、観光ボランティアへの外国語会話研修の実施、宿泊施設での外国語テレビ放映機器の整備に対する支援などによる受け入れ環境の整備を図るとともに、飛越国際観光都市連合やホテル・旅館などの観光関連事業者と連携し、外国人観光客に対し魅力的な観光ルートを提案します。

また、本市の魅力ある観光資源や物産などを紹介するため、海外での観光客誘致宣伝活動を行うとともに、インターネットでの外国人向けの観光情報を充実し、海外における本市の知名度向上を図ります。



## 市民に期待する役割

- \* 折に触れて市の観光資源を紹介する。
- \* おもてなしの心をもって観光客と接する。
- \* 観光ボランティア活動に参加し、国内外の観光客に対して案内を行う。

<sup>2</sup>エコ・ツーリズム 生態系や自然保護に配慮し、旅を通じて環境に対する理解を深めようという考え方。またそのような旅のしかた。

## 総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要(19～23年度)
観光実践プランの策定		プランの策定
外国語表示観光案内板整備事業	設置箇所数 8箇所	設置箇所 14箇所の増(累計22箇所)

# 施策2 観光資源のネットワーク化の推進

## -1-2



### 現状と課題

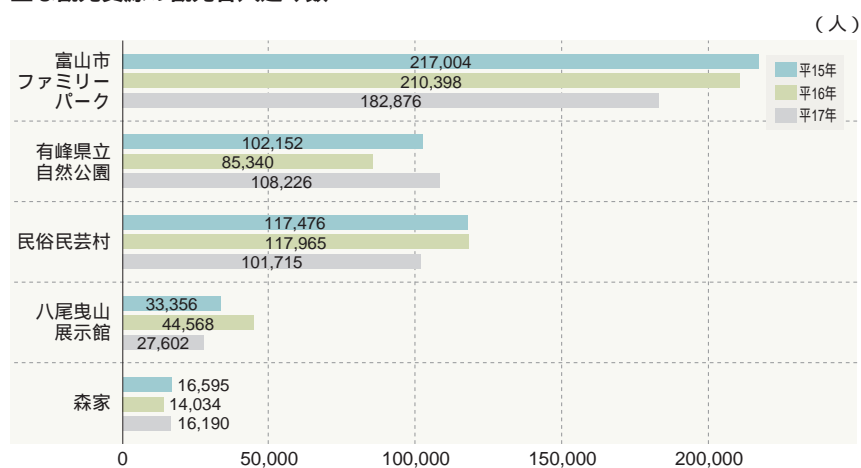
本市には、海や山岳、河川、森林など、四季ごとに豊かに彩られる自然や、それぞれの地域で育まれてきた伝統文化や芸術、祭りなどがあります。また、八尾曳山展示館、北前船廻船問屋森家、売薬資料館など地域の歴史を物語る施設、美しい都市空間などの観光資源が点在しています。

また、平成18年度に県から移管されたらいちょうバレースキー場など、市内にあるスキー場については、スキー人口の減少に伴い経営が厳しくなっており、経営の改善が必要になってきています。

今後は、これら個々の観光資源について魅力を高めながら、季節別・テーマ別に連携させることにより、通年型観光を促進する必要があります。

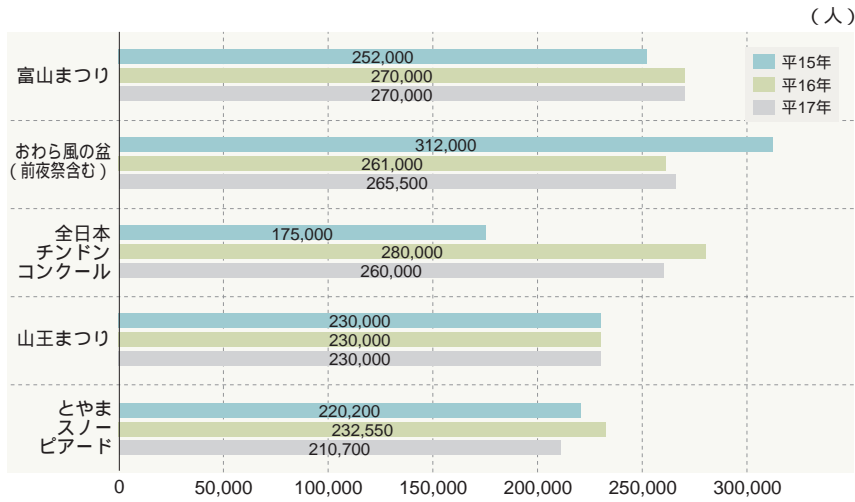
また、点在する観光資源を公共交通機関やアクセス道路で効率よく結ぶとともに、充実した観光情報を発信するなど、観光地としての基盤の確立と利便性を高める必要があります。

主な観光資源の観光客入込み数

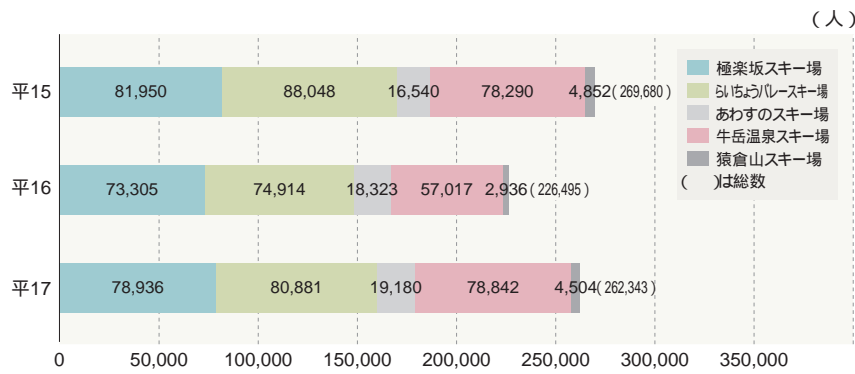


個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

### 主な観光行事の観光客入込み数



### 市内スキー場の利用状況



## 目標とする指標

指標とその説明	基準数値(年度等)	23年度目標数値	目標設定の考え方
<b>スキー場入込客数</b> 市内スキー場の入込客数 (らいちょうバレー、極楽坂、牛岳温泉、あわすの、猿倉山)	262,343人 (17年)	263,000人	スキー人口が減少する中で、各スキー場の魅力を高め、現状維持を目指す。
<b>温泉施設利用客数 (再掲 -1-2)</b> 市内の主な温泉7施設の年間利用者数	856,759人 (17年)	860,000人	滞在型観光を進め、現状より増を目指す。

個性と創造性に満ちた活力あふれるまち





## 施策の方向

### まちなか観光の推進

観光の拠点となる中心市街地の再整備により魅力高め、まちの賑わい創出に努めるとともに、城址公園や松川・いたち川の整備・活用などにより人々が滞留できる空間形成を図り、まちなか観光を推進します。

### 地域の観光資源のネットワーク化による魅力の向上

さまざまな交通手段を利用して訪れる観光客が、目的地まで快適に移動できるよう交通網の整備に努めます。

また、点在している観光資源の情報を整理し、季節別・テーマ別

の観光ルートを構築するなど、観光メニューの充実に努めます。

さらに、観光客をひきつける観光パンフレットを作成し、配布することにより、観光情報の発信に努め、多くの人々が本市を訪れ地域の賑わいが創出されるよう努めます。

### スキー場と温泉施設等との連携

スキー場については、温泉施設をはじめとした近隣の観光施設との連携による利用者の増加に努めるとともに、トレッキングコース<sup>3</sup>の整備などグリーンシーズン<sup>4</sup>の活用策や、今後の経営方式のあり方について検討を進めます。

## 市民に期待する役割

- \* 伝統的な行事や地域で行われるさまざまなイベントなどに参加する。
- \* 折に触れて市の観光資源を紹介する。

<sup>3</sup> トレッキングコース 山歩きのコース。

<sup>4</sup> グリーンシーズン スキーシーズン以外のシーズンで、雪どけ後の新緑の時期から積雪前までの季節。

# 施策3 富山ブランドの発掘・発信 -1-3



## 現状と課題

本市には、「くすり」や「ますの寿し」など、全国的に有名な商品や、「おわら風の盆」など著名な伝統文化があり、これらは確立された富山ブランドといえます。

しかしながら、地域全体のイメージの好感度や知名度としての富山ブランドは、全国的なものとして確立するまでには至っていない状況です。地域イメージの向上には、市民一人ひとりが富山ブランドの良さを認識し、暮らしのあらゆる場面で利活用し、PRしていくことが大切です。

このことから、これら富山ブランドの価値をさらに高める工夫をしながら、さらに魅力ある富山ブランドの発掘に取り組む必要があります。

また、販売品については、富山ブランドとして位置づけるとともに、流通経路を拡大し、販売を促進することが必要となっています。

### 富山市の特産品一覧

区分	主な特産品
水産物・水産加工物	かまぼこ、ほたるいかの沖漬け、いかの黒作り、白えびの刺身、イワシやアジのみりん干し、塩乾物 など
農産品・農産加工品	富山米、呉羽梨、朝日すいか、池多りんご、富山トマト、いちじく、自然薯、らっきょう漬、山菜加工品、啓翁桜、水橋カラー など
各種食品	ますの寿し、みょうが寿し、八尾そば など
工芸品・民芸品	富山木象嵌、越中八尾和紙、ガラス工芸品、とやま土人形 など
その他	配置用医薬品、薬膳料理、地酒・地ビール・地ワインなどの酒類、地元産の食材を使った菓子類

## 施策の方向

### 富山のイメージを高めるブランド化の推進

市民が富山ブランドの良さを再認識し、誇りをもって全国に自慢できるよう市民への意識啓発に努めます。

また、県内外で開催される各種イベントや、富山ブランド市、富山くすりフェアなどの機会を捉えて富山ブランドのPRに努めると

ともに、くすりに関する情報発信の拠点となる施設などの整備について検討します。

一方、特産品の生産者に対しては、商品などの高付加価値化や高品質化、差別化を図るための研修会を開催するとともに、インターネット網を活用した販路拡大に向けた取り組みを支援します。

さらに、富山ブランド情報を集

めたホームページを開設し、富山ブランドの普及と販売の促進に努めます。



## 市民に期待する役割

\* 市の特産品の良さを認識するとともに、折に触れて紹介する。

## 総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要(19～23年度)
富山ブランド推進事業		講演会の開催、ホームページの開設、生産者向け富山ブランド研修会の開催、生産者等ホームページ開設助成など
富山ブランド市開催事業	富山ブランド市の開催	継続開催

# 施策4 コンベンションの振興 -1-4



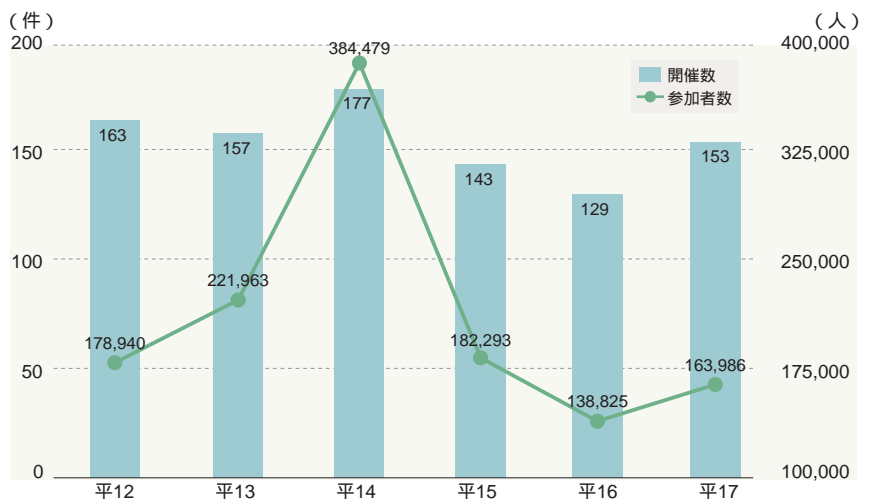
## 現状と課題

本市には、富山国際会議場、富山市芸術文化ホール（オーバードホール）、富山県民会館などの大規模な会議などができるコンベンション<sup>5</sup>施設があり、中でも中心的役割を担う富山国際会議場は、メインホール、大型スクリーン、6カ国語同時通訳設備などにより、国際的な会議に対応できるものとなっています。また、近隣には、ホテルや飲食店が集積しており、富山大手町コンベンション(株)や、(財)富山コンベンションビューローとの連携により、大学や各種団体を訪問するなど、コンベンション情報を収集し、誘致に努めています。

市民によるコンベンションサポーター<sup>6</sup>は、会議場での受付業務補助などの会議支援や、会場内での通訳、観光案内などを行い、コンベンションが円滑に開催できるよう主催者を支援しています。また、国際会議場でのコンベンション開催の際には、民間において物産販売のサービスを行っています。

会議参加者を本市のリピーター<sup>7</sup>とするためには、参加者が市内を観光し、地元の料理を味わい、特産品を購入するなど、富山を楽しんでいただくことが大切です。そのためには、各種団体やコンベンションサポーターなどと連携したアフターコンベンション<sup>8</sup>の充実が必要となっています。

コンベンション開催数推移



**5 コンベンション** 国際会議、大規模な会議や見本市など。国の内外から多くの人々を集めるなど、経済的、文化的波及効果が高い。

**6 コンベンションサポーター** 富山市内で開催されるコンベンションの受付や案内業務を支援する者。

**7 リピーター** 買い物、食事、宿泊、旅行などで同じ店やホテルや観光地を何度も利用したり訪れたりする人のこと。

**8 アフターコンベンション** コンベンション（会議、大会、学会）の後、その周辺で楽しめる娯楽。

個性と創造性に満ちた活力あふれるまち



## 目標とする指標

指標とその説明	基準数値（年度等）	23年度目標数値	目標設定の考え方
<b>コンベンション開催数</b> <small>県外参加者が本市で延べ100泊以上するコンベンションの開催数</small>	<b>68件</b> <small>（17年度）</small>	<b>80件</b>	コンベンションの誘致を進め、毎年2件増を目指す。

## 施策の方向

### コンベンション誘致の推進

コンベンションを誘致するため、開催補助制度やコンベンションサポーター派遣制度をPRするとともに、富山大手町コンベンション(株)や(財)富山コンベンションビューローとの連携の強化に努めます。

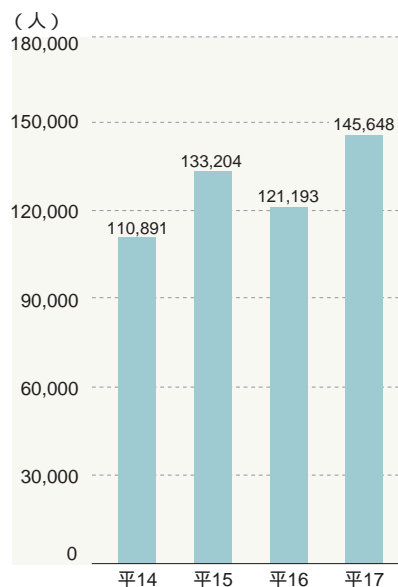
また、コンベンションの国際化に対応するため、交通・宿泊・飲食・観光などの関連団体と協力し、開催支援の充実に努めるとともに、外国人に分かりやすい案内

板の設置や、宿泊施設での外国語テレビ放映機器の整備に対する支援などを推進します。

**アフターコンベンションの充実**  
 会議参加者に富山を楽しんでいただくため、各種団体や市民と行政が連携した、おもてなしの体制づくりに努めます。

また、アフターコンベンションでの観光を充実するため、インターネットでの飲食情報や特産品の紹介など、四季折々の旬の情報提供に努めます。

富山国際会議場入場者数



## 市民に期待する役割

- \* おもてなしの心をもって、コンベンションに参加した外来者と接する。
- \* コンベンションサポーターに登録し、コンベンション参加者との交流活動に取り組む。



個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

# 施策5 おもてなしの心の醸成 - 1-5



## 現状と課題

本市では、ホテルや旅館などの関係団体と連携し、これらの従業員、タクシー運転手など観光客と接する機会が多い職業の方々を対象に、接遇や施設・特産品の情報、簡単な外国語会話の習得に取り組んでいます。

また、本市には、観光ボランティアガイドや、会議の支援を行うコンベンションサポーター、中心市街地周辺地区で清掃・案内などの活動を行うアーバンアテンダントなどのグループにより観光客へのおもてなしが実践されています。

今後は、観光の国際化や新幹線の開通などで、国内外から多くの観光客が訪れることが予想されるため、観光客を受け入れる体制の充実と、意欲的におもてなしの活動ができる人材の育成と確保が必要となっています。

### 観光ボランティア団体等一覧

区分	団体名	活動地域
観光ボランティア	紙ふうせん	富山地域
	岩瀬案内グループ	
	婦中町観光ボランティア	婦中地域
	うれの会	大山地域
コンベンションサポーター	とやまコンベンションサポーター会	富山市全域
アーバンアテンダント	T-angels(ティーエンジェルズ)	富山地域

## 施策の方向

### 市民ぐるみでもてなす心の醸成

市民全体がおもてなしの心を持って観光客に接することが観光客の満足度向上につながり、富山のファンやリピーターの獲得に大切なことから、市民がそれぞれの地域において、得意な分野で活動しやすい環境の整備に努め、市全体で観光客をもてなす気運の醸成を

図ります。

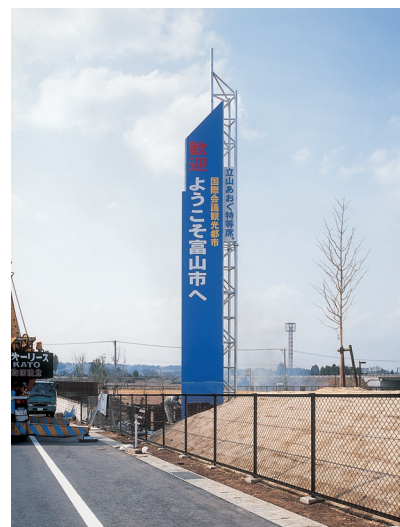
また、今後、増加が予想される外国人観光客への対応に備え、観光産業関係者や観光ボランティアを対象とした研修を支援するとともに、異文化の慣習への理解や、外国語会話の習得など、研修内容の充実に努めます。

## 市民に期待する役割

- \*おもてなしの心をもって観光客と接する。
- \*観光関係者は、本市の観光についての知識を深めるとともに、接遇などについて資質の向上に努める。

## 総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要(19～23年度)
観光サポーター研修事業	コンベンションサポーターとの合同研修の実施	事業の継続実施



個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

# 施策1 伝統的文化・文化遺産の 保全、活用

-2-1



## 現状と課題

本市にはおわら風の盆や八尾曳山祭り、熊野神社の稚児舞などの伝統芸能や、とやま土人形や富山木象嵌、越中和紙などの伝統工芸品があります。

これら、それぞれの地域の歴史と生活に培われた伝統が、関係者の高齢化などから担い手や後継者が減少しており、伝統文化の継承のための対策が必要となっています。

また、岩瀬地区や八尾地区の情緒豊かで歴史的なまち並みや、史跡王塚・千坊山遺跡群など、地域の歴史や文化を語る貴重な資源を保全し、まちの活性化につなげていくことが必要となっています。

### 富山市内の国指定文化財一覧

	種 別	名 称
1	建造物	浮田家住宅
2	建造物	旧森家住宅
3	建造物	富岩運河水閘施設（中島閘門）
4	絵画	紙本著色野郎歌舞伎、婦女遊楽図六曲屏風
5	絵画	絹本著色法華経曼荼羅図
6	彫刻	木造十一面観音立像
7	彫刻	木造聖観音立像
8	書跡	仏祖正伝菩薩戒教授文
9	考古資料	境A遺跡出土品
10	有形民俗文化財	富山の売薬用具
11	無形民俗文化財	越中の稚児舞（熊野神社の稚児舞）
12	史跡	北代遺跡
13	史跡	直坂遺跡
14	史跡	王塚・千坊山遺跡群
15	史跡	安田城跡
16	特別天然記念物	薬師岳の圏谷群
17	天然記念物	真川の跡津川断層
18	天然記念物	猪谷の背斜・向斜
19	天然記念物	横山榆原衝上断層



## 施策の方向

### 伝統文化等の保存・継承への支援

地域の伝統文化を次代に継承するため、本市の伝統文化に関するさまざまな情報を市内外に発信するとともに、市内の小学生等を対象とした伝統芸能発表会などを開催することにより、後継者となる人材を幅広く発掘し、後継者の確保・育成に努めます。

また、地域に残る伝統的な行事に対して支援制度を整備し、伝統文化の保存・継承に努めます。

さらに、先人の残した本市の伝統工芸品の良さを広く市民にPRするとともに、富山木象嵌技術講習会の開催や関係団体の活動に対して支援し、後継者の育成や技術の継承に努めます。

### 伝統的なまち並みの保全と活用

地域の活性化を図るため、風情ある伝統的な家屋を修景し伝統的なまち並みの形成を進め、観光資源としての活用に努めます。

また、歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を、文化財

として保存する、国の伝統的建造物群保存地区<sup>1</sup>の選定に向けた準備を進めます。

さらに、特色あるまち並みの創出を図るため、景観や雰囲気を損なう建築物や広告物などの抑制に努めます。

### 文化遺産等の保全と活用

市内の多様な文化財の実態を把握するため、市全体の文化財を調査するとともに、史跡や建造物周辺に遊歩道や案内標識などを整備することにより、観光資源としての活用を図ります。

史跡王塚・千坊山遺跡群については、計画的に保存整備を図ります。

また、収蔵庫や展示スペースを備えた埋蔵文化財センターの整備について検討します。

地域固有の文化資料等の電子化  
図書館に所蔵する貴重な書物や地域固有の文化資料の電子化を推進し、ホームページ等での情報提供に努めます。



## 市民に期待する役割

- \* 地域の伝統行事に参加する。
- \* 折に触れて地域の伝統工芸品を紹介する。
- \* 地域に残る歴史的建造物や文化財を愛護する心を育む。

<sup>1</sup> 伝統的建造物群保存地区 文化財保護法に基づいて、伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するために選定する地区。

## 総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要(19～23年度)
歴史的まち並み修景等整備事業 (再掲Ⅲ-1-3)	伝統的家屋及び一般建築物等の修景 空家活性化事業	事業の継続実施
まち並み保存活用推進事業	岩瀬地区の廻船問屋の資料調査 旧森家の展示活用	岩瀬地区の伝統的建造物群選定のための調査など まち並みを生かした施設整備など
史跡王塚・千坊山遺跡群整備事業	保存管理計画策定委員会の開催	遺跡群の復元整備など
埋蔵文化財センター施設整備事業		整備計画策定、施設整備の検討

## 施策2 新たな芸術文化の発信 -2-2



### 現状と課題

本市では、ガラス工芸品の創作活動を通じて、ガラス工芸を新しい産業として定着させるため、富山ガラス工房を整備・充実するとともに、作品を展示するショーケースを街路に設置するなど、ガラス工芸技術者の養成とガラス工芸品の普及に努めてきました。

今後は、ガラスを富山の新しい文化として位置づけるための拠点施設等の整備と「ガラスの街とやま」のイメージの定着を図る必要があります。

また、富山の伝統的な産業である薬業とともに、グラフィックやパッケージデザインに代表される商業デザイン産業が発展しており、全国的にも高い評価を受けています。

今後は、デザインの振興や普及啓発により、地域の活性化を図る必要があります。

一方、地域に潜在している芸術・文化資源の発掘に努め、新たな芸術文化として、発展の可能性を検討する必要があります。

富山ガラス造形研究所卒業生進路一覧

(人)

進路先		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
進学	研究科	4	3	2	3	3
	その他(留学)	1	0	0	0	0
就職	富山ガラス工房	0	1	1	0	1
	ガラス関係会社	1	4	1	0	1
	公立工房	0	1	0	1	1
	個人工房	2	9	14	12	7
	教育関係	2	1	0	0	1
その他		9	1	1	1	6
合計		19	20	19	17	20

富山ガラス工房の利用状況

(人)

年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
入館者数	32,066	34,053	33,315	33,837	34,742
1日平均	105	111	117	109	112
ガラス制作講座受講者	12	12	12	18	18
吹きガラス等体験者数	398	504	679	1,577	3,146

## デザイン業務種類別年間売上高（平成15年北陸三県）

（百万円）

区分	富山県	石川県	福井県
パッケージデザイン	59	10	11
グラフィックデザイン	1,231	552	365
サインデザイン	141	34	35
ディスプレイデザイン	46	36	8

（平成15年特定サービス産業実態調査）

## 目標とする指標

指標とその説明	基準数値（年度等）	23年度目標数値	目標設定の考え方
<b>ガラス作品制作 体験者数</b> <small>吹きガラス体験などの有料体験参加者数</small>	<b>3,146人</b> <small>（17年度）</small>	<b>4,200人</b>	体験事業の充実により毎年約5%の増を目指す。

## 施策の方向

新たな芸術文化の創造への支援  
 ガラス工芸の知名度の向上を図るため、建築家やアーティストなど異業種のデザイナーとのコラボレーション<sup>2</sup>による新しい表現領域の開発に努めるとともに、ガラスアートの建築空間や都市空間への活用を促進します。

また、ガラス工芸の活性化を図るため、翡翠の入った新素材ガラスの普及促進や、創作工房（レンタル工房）や体験事業の充実を図り、ガラス作家の本市への定着を促進するとともに、創作活動に対して支援します。

また、ガラス美術館基本構想に基づき、富山のガラス文化の拠点の整備について検討します。

### デザインの普及とデザイン活動への支援

デザイナーの資質向上や人材の育成のため、若手デザイナーなどの活動に対して支援するとともに、ポスター塔やデザインサロン富山での特別企画展やデザインセミナー、富山デザインフェアなどを開催し、市民が商業デザインを身近に感じることができるよう工夫するなど、商業デザインの振興や普及啓発に努めます。



個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

## 市民に期待する役割

\* ガラス工芸や商業デザインについて理解を深める。

<sup>2</sup> コラボレーション 共同作業。共同製作。

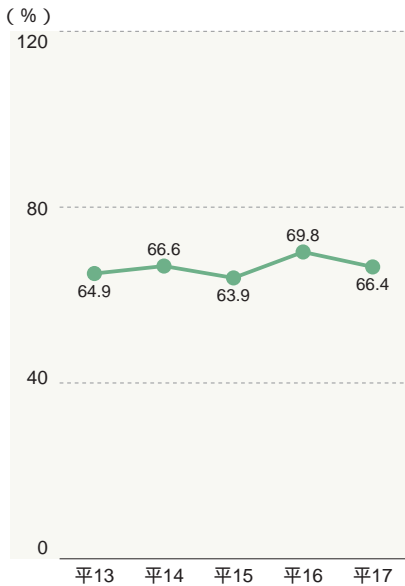


## 総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要(19~23年度)
ガラスのまち推進事業	ショーケースの設置 ガラス作品収蔵	ショーケース設置の拡充 ガラス作品の購入 ガラス美術館の建設検討
富山デザインフェア等開催事業	富山デザインフェアの開催	富山デザインフェア等(デザイン月間事業)の開催

# 施策3 市民の芸術文化活動への支援 -2-3

富山市芸術文化ホール年間稼働率



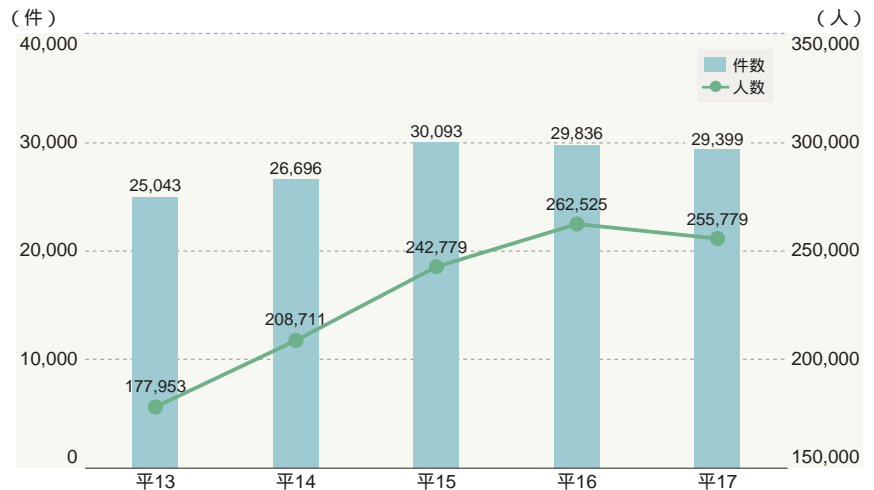
## 現状と課題

心豊かな暮らしを実現するため、市民の創作活動への支援や、優れた芸術文化の鑑賞機会の提供が求められています。

また、本格的に芸術作家を目指している人から、趣味として芸術文化活動を実践している市民まで、それぞれの活動に応じた発表・鑑賞の場を提供し、芸術文化の発展につなげることが重要となっています。

さらに、次代の芸術文化を担う子どもたちに、芸術文化に触れる機会を提供することが重要となっています。

富山市民芸術創造センター利用状況



(件、人)

年度	舞台稽古場		リハーサル室		大練習室		練習室		アトリエ 舞台美術製作室		研修室		計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
13	388	20,753	468	24,921	3,272	77,471	20,148	52,014	494	1,600	273	1,194	25,043	177,953
14	419	29,098	489	30,312	3,837	92,145	21,122	51,771	513	3,545	316	1,840	26,696	208,711
15	380	32,230	521	34,155	4,681	107,932	23,603	64,070	485	3,188	423	1,204	30,093	242,779
16	332	43,171	444	29,193	4,560	116,815	23,604	62,703	544	8,833	352	1,810	29,836	262,525
17	388	39,366	455	27,979	4,638	117,117	23,363	67,164	263	2,564	292	1,589	29,399	255,779

## 施策の方向

### 優れた芸術文化に親しむ機会の充実

市民が芸術文化に親しむ機会を拡充するため、芸術文化ホールなどでの芸術文化事業の情報提供に努めます。

### 地域の芸術文化活動拠点の充実

市民が身近で芸術文化に親しめる環境を整備するため、市民芸術創造センターや各地域の文化会館などを創作活動の拠点として充実させるとともに、老朽化した施設の改修を進めます。

また、市民の創作活動の発表の場として富山市美術展や神通峡美術展を開催するほか、音楽や舞踊などさまざまな文化活動の成果を

発表する機会の提供に努めます。

### 地域文化を支える人材の育成

次代に地域の伝統文化を継承するため、児童生徒が地域の伝統的な文化行事などを通じて地域文化への理解を深めるとともに、児童生徒の文化活動を支援することにより地域文化を支える人材の育成に努めます。

また、地域文化のリーダーの育成を図るため、ふるさと発見塾や地域の文化に関するシンポジウムを開催するなど、市民が地域にある芸術文化資源を再発見し、住民一人ひとりが地域文化の担い手であると自覚できるよう意識の啓発に努めます。



## 市民に期待する役割

- \* 音楽や演劇、美術などを鑑賞し、芸術文化に親しむ。
- \* 創作活動に関する講座等に参加し、感性を磨き創造力を養う。
- \* 芸術文化活動の発表の場でそれぞれの成果を披露する。
- \* 伝統的な行事やさまざまな芸術文化活動に参加する。

## 総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要(19～23年度)
市美術展の開催	日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真の7部門	事業の継続実施
神通峡美術展の開催	壁面や野外に展示する造形作品の美術展	3年に1度の公募展として継続実施
市民文化振興事業	市民文化事業団ソフト事業 芸術創造センター事業 桐朋アカデミー事業	事業の継続実施
文化芸術による創造のまち支援事業	ふるさと発見塾やシンポジウム等の開催 ボランティアの育成など	事業の継続実施



# 施策1 広域交流の推進・充実 -3-1

## 現状と課題

人口減少、少子高齢化社会においては、本市を来訪する人々がもたらす、「もの」、情報及び人々との交流が、地域の活力を維持し、地域の活性化を図る上で欠かせないものとなっています。

このことから、本市が人々から訪れたいまち、暮らしたいまちとして選ばれるまちづくりを行っていくことが必要となっています。

また、本市では、市内のスポーツ施設等を活用して、地域における広域的な交流や地域の活性化を図るため、補助制度を設けて、県外の高等学校・短期大学・大学のスポーツ合宿を誘致しています。

今後は、これらの交流活動が将来にわたって持続し、発展していくよう、交流の分野を広めるとともに、活動を担う組織や人材の発掘と育成が必要となっています。

## 施策の方向

### 選ばれるまちづくりの推進

本市が人々から訪れたいまち、暮らしたいまちとして選ばれるよう、本市の有する自然、景観、伝統芸能、文化、産業などの豊富かつ多様な資源の保全、整備、育成により本市の新たな魅力の創出に努めます。

また、それらの魅力の情報発信、観光の振興及び交通のネットワーク化に努めるとともに、来訪者受け入れの担い手となる、NPO<sup>1</sup>やボランティアなどの人材の育成を図ることにより、交流人口の増加に努めます。

さらに、団塊の世代<sup>2</sup>や大都市

圏等からのIJUターン<sup>3</sup>者の受け皿づくりを進め、週末居住<sup>4</sup>などを含めた定住人口の増加に努めます。

### 都市間の連携・交流による魅力の創出

国内外に誇れる魅力に満ちた地域として持続的に発展するため、市民と県内外の人々が、民間・行政の枠を超え、経済や教育、文化などさまざまな分野において交流を深め、互いの地域の特性等を認識し、また互いの魅力を組み合わせることで相乗効果が発揮できるよう、連携・協働による活動体制の構築を図ります。

1 NPO 政府・自治体や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体。特定非営利活動法人、非営利組織、非営利団体(Non Profit Organization)。

2 団塊の世代 戦後のベビーブーム時代といわれる昭和22年から昭和24年に生まれた世代。

3 IJUターン 大学進学や就職等で、地方から大都市圏に出たのち、再び地方に就業・移住すること。Uターンは出身地に、Jターンは出身地の経路にある地域に、Iターンは出身地と全く異なる地域に移ること。

4 週末居住 大都市に暮らす人が、週末を地方都市等で暮らすこと。団塊の世代のリタイアで、都市住民に広がることが予想されている生活様式。

## 市民に期待する役割

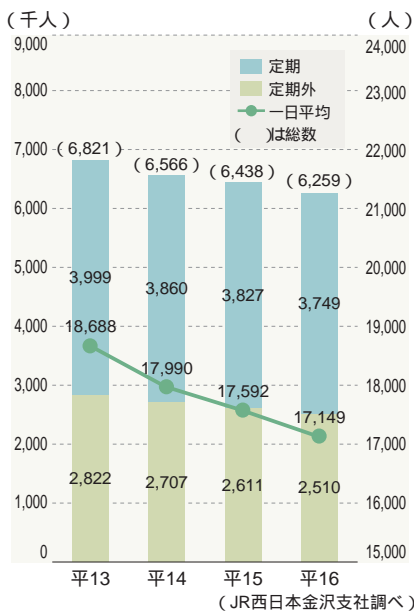
\* 地域の活性化に向けた活動に協力するとともに、市内外の人々や団体などとも積極的に交流する。



# 施策2 発展と交流を支える広域交通ネットワークの整備・充実

-3-2

JR富山駅の輸送状況



## 現状と課題

本市には、JR北陸本線やJR高山本線が整備されており、さらに、北陸新幹線の整備が進められるなど、鉄道交通の利便性の高い都市といえます。

空の玄関口である富山空港については、国内定期路線は3路線が運行されており、また、国際路線はソウル・ウラジオストク・大連の各便に加え、平成17年10月には上海便が開設され、国内外へのアクセス性が向上しています。

道路の状況では、高速道路として北陸自動車道が整備されており、また、地域高規格道路<sup>5</sup>として富山高山連絡道路の整備も予定されていることから、自動車を利用した移動の利便性の向上が期待されています。

富山港については、地域の産業・経済の発展に貢献しており、内外貿易港として港湾機能の向上が求められています。

これらのことから、本市は、陸・海・空の交通の要衝地であるというポジションを生かし、環日本海地域の中核都市として、人・もの・情報の一層の交流を促進する必要があります。

平成16年海外渡航者数

	全国順位	人口千人当り 出国日本人数
全国平均	-	133.4
石川	21	90.4
福井	22	88.5
富山	25	82.3

(出入国管理統計年報)

富山空港定期便の利用者数

年度	東京便		札幌便		福岡便	
	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客
13	429,536	438,358	60,318	56,599	27,259	29,575
14	555,472	530,150	58,730	58,185	29,507	29,454
15	545,562	544,538	57,170	53,812	27,790	30,699
16	558,503	555,378	54,731	52,216	26,166	28,213
17	534,198	532,778	53,985	51,239	24,336	26,040

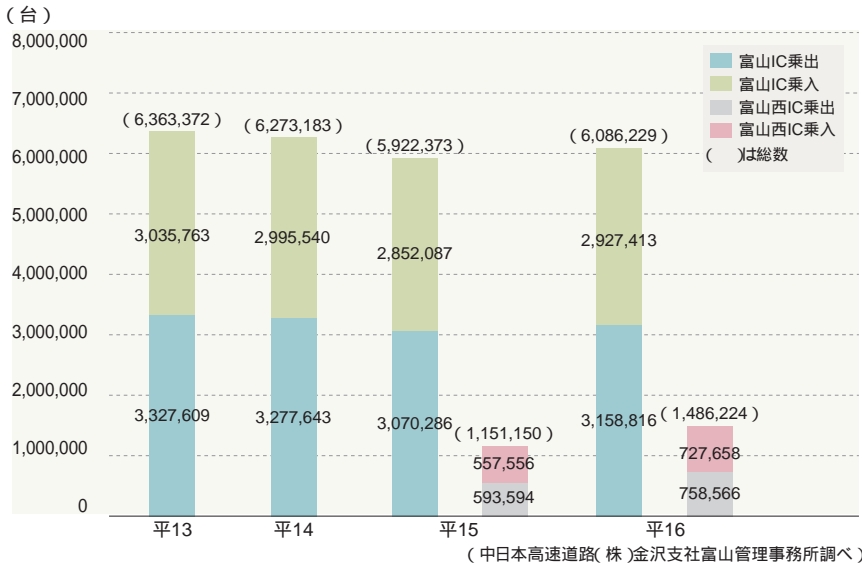


**5 地域高規格道路** 高速自動車道路などと一体となって高速交通体系の役割を果たし、地域構造を強化する道路で、自動車専用道路もしくはこれと同等の高い規格を有し、60～80km/hの高速サービスを提供できる道路として整備される。

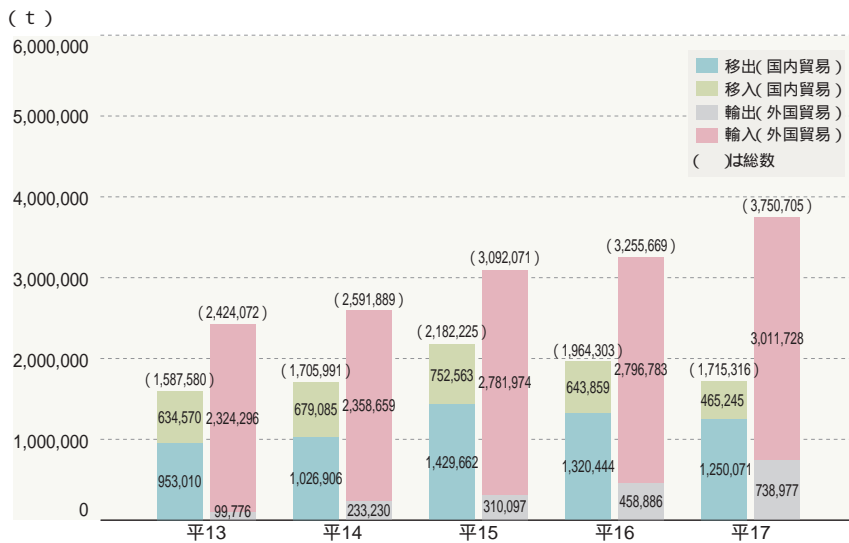
年度	ソウル便		ウラジオストク便		大連便	
	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客
13	20,548	20,350	1,477	1,408	16,483	15,640
14	19,149	18,388	1,515	1,300	16,629	15,295
15	14,607	14,332	1,684	1,553	9,752	8,877
16	18,762	18,224	1,758	1,731	15,995	14,998
17	15,324	15,660	2,070	2,105	14,931	13,899

(富山空港管理事務所調べ)

## 富山・富山西インターチェンジ出入り交通量



## 富山港輸移出入貨物の状況



## 施策の方向

### 陸・海・空の広域交通ネットワークの活用

#### 北陸新幹線の整備促進

北陸新幹線は、北信越地域の飛躍的な発展を図る上で大きな効果をもたらし、本市と大都市圏との交流の活性化を担う柱であるため、全線開通に向けた事業の促進に努めます。

### 広域的な道路交通網の充実

北陸自動車道の利便性を向上するため、流杉パーキングエリアにおいてETC<sup>6</sup>専用インターチェンジ(スマートインターチェンジ)の実現に努めます。

また、富山県広域道路網マスタープランに位置づけられている富山高山連絡道路などの国道及び県道の整備について関係機関に働き

<sup>6</sup> ETC 無線通信を用いて有料道路などの料金精算を自動的に行う、電子料金徴収システム(Electronic Toll Collection)。



かけます。  
空港・港湾の充実  
国内外の交流を促進するため、  
富山空港施設や航空路線の充実を

促進するとともに、富山外港や臨  
港道路の整備を関係機関に働きか  
けます。

## 市民に期待する役割

\* 恵まれた広域交通ネットワークを活用し、積極的に国  
内外の人々と交流する。



# 施策3 世界とふれあう 多様な交流の促進

-3-3



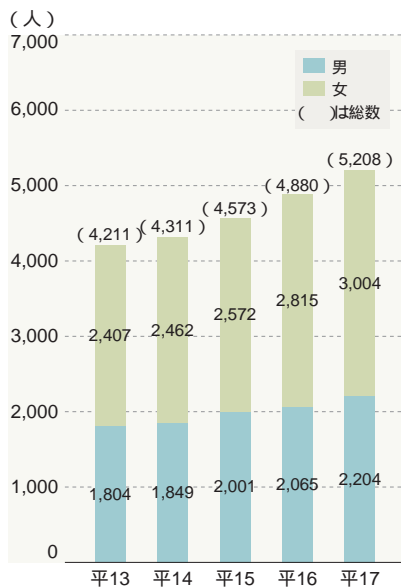
## 現状と課題

国際化の進展に伴って、本市を訪れ、居住している外国人が増加しており、市民が他国の風習などに接する機会が多くなっています。

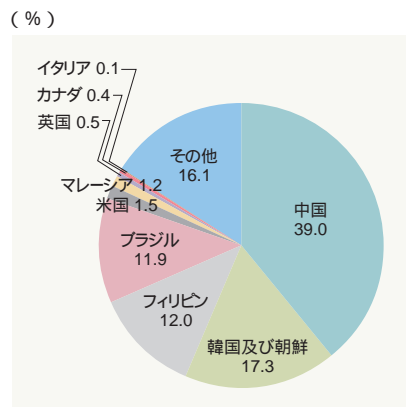
このことから、市民の異文化への理解を深めるため、外国人と交流できる機会の提供などにより、国際感覚豊かな人材を育成する必要があります。

また、本市を訪れる外国人にとって安心して過ごせるまちづくりを進めることにより、市民が主体的に行う交流活動が活性化し、本市の活力につなげることが期待されています。

外国人登録者数 (各年12月末日現在)



外国人登録者の国別割合(平成17年12月末日現在)



富山市国際交流協会個人会員数

(人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
会員数	583	600	580

## 富山市の姉妹・友好都市

**友好都市 秦皇島市**  
(中華人民共和国・河北省)

友好都市締結調印の日  
1981年(昭和56年)6月7日

人口 約2,790,000人  
面積 7,812km<sup>2</sup>  
主な産業 ガラス産業  
機械製造業  
ビニール産業

**姉妹都市 ダーラム市**  
(アメリカ合衆国・ノースカロライナ州)

姉妹都市提携調印の日  
1989年(平成元年)6月13日

人口 約209,000人  
面積 246km<sup>2</sup>  
主な産業 保健・医療関連産業  
ハイテク産業

**姉妹都市 ウェリントン**  
(オーストラリア連邦・ニューサウスウェールズ州)

姉妹都市提携調印の日  
1992年(平成4年)6月24日

人口 約9,600人  
面積 3,980km<sup>2</sup>  
主な産業 農畜産業

**姉妹都市 モジ・ダス・クルーゼス市**  
(ブラジル連邦共和国・サンパウロ州)

姉妹都市提携調印の日  
1979年(昭和54年)11月8日

人口 約367,000人  
面積 721km<sup>2</sup>  
主な産業 養鶏業  
機械金属製造業



### Sorting and putting out garbage

- Take note of the garbage pick-up days in your area. (Pick-up days vary by area.)
- Place your garbage in the designated pick-up area. (The pick-up area is designated by local residents.)
- Place your garbage before eight in the morning.

Place garbage inside the designated papered bags and transparent bags.

**Burnable (Twice weekly)**

- Kitchen garbage**  
Remove excess water from kitchen garbage.  
Cooking oil (Soak up oil with cloth or paper.)
- Rubbish - Leather goods**  
Paper diapers (remove all traces of excrement)  
Disposable heating pads
- Rubbish - Cassettes**  
Rubbers - Carpets  
Cut carpets into one-meter squares and bundle with string.  
Cutting and tucking  
Tie into small bundles.
- Wooden furniture**  
Wooden items must be cut into pieces no larger than one meter. The boards and pieces into bundles no larger than one meter.
- Wastepaper**  
Waste wood  
Cut bamboo sticks into short pieces.
- Grass, leaves and twigs**  
Remove all soil, dry well, and place in bags.  
Tie twigs with string. Do not discard more than two or three bundles at a time.
- Videotapes** - **Cassette tapes**

Toyama-shi Kankyo (Environment) Center 637 Kuryama, Toyama-shi Phone: 633-0217

## 施策の方向

### さまざまな国際交流活動への支援

環日本海地域との交流が促進されるよう、国際交流団体や海外に進出している企業などとの連携を図ります。

姉妹・友好都市との交流については、市民の主体的な国際交流活動を支援し、さまざまな分野における国際交流と国際協力を推進します。

また、広い視野を持ち、国際感覚が豊かな人材を育成するため、富山市民国際交流協会等の関係団体と連携を図るとともに、市民や

国際交流ボランティア団体の中核的な活動拠点として、国際交流センターの機能の充実を図ります。

### 外国人がすごしやすいまちづくり

外国人と住民が、互いを尊重し認め合いながら、地域の一員として共に暮らしていくため、多文化共生のまちづくりを推進します。

また、外国人にも住みやすいまちとするため、生活に関するさまざまな情報の提供に努めるとともに、災害時における通訳ボランティアを確保するなど、防災支援体制の整備を図ります。

## 市民に期待する役割

- \* 自らの経験を生かして国際交流・国際協力に取り組む。
- \* 外国人も地域の一員として迎え、一緒に地域活動などを行う。

FOR FOREIGN RESIDENTS IN  
TOYAMA CITY

## DAILY LIVING GUIDE

第5版  
〈生活情報ガイド〉

CITY OF TOYAMA  
富山市

個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

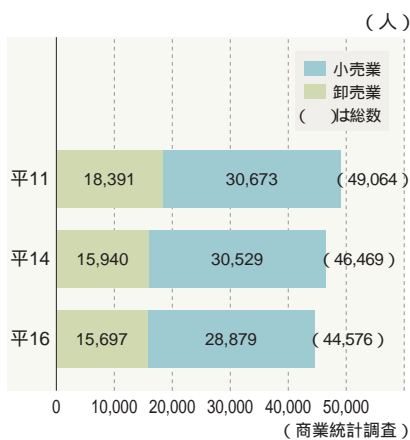
## 総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要(19～23年度)
姉妹・友好都市締結記念事業		モジ・ダス・クルーゼス市姉妹都市提携30周年記念事業 ダーラム市姉妹都市提携20周年記念事業 秦皇島市友好都市締結30周年記念事業
中学生国際親善交流事業	姉妹・友好都市などとの中学生の相互交流	事業の継続実施

# 施策1 とやまの活力を生み出す人づくり -4-1

## 現状と課題

富山市商業の従業員数の推移



さまざまな産業を支えているのは、熱意と向上心をもって各種サービスや生産活動などに取り組む人材です。今後は、長期的な人口減少傾向を見据えながら、意欲があり、時代とともに高度化・多様化する消費者ニーズに対応できる人材を育成・確保することが重要となっています。

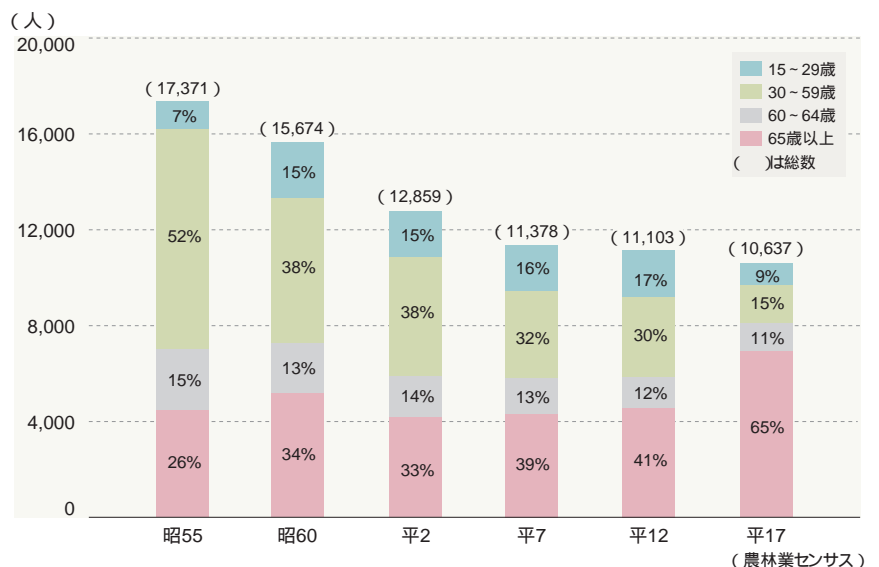
農林業では、従事者の高齢化と後継者不足が進む一方、都市部の住民には、農業体験や農山村での生活に対して関心を持つ人が増えています。

漁業においては、経営の不安定さなどから、従事者が減少・高齢化しており、担い手の育成・確保が必要となっています。

一方、製造業やIT<sup>1</sup>などの創業支援を図るため、ハイテク・ミニ企業団地やとやまインキュベータ・オフィスを設置し、入居企業の育成を図ってきています。さらに、平成18年度には研究開発型ベンチャー企業<sup>2</sup>を育成するため、新産業支援センターを整備しています。

今後は、各産業を支える新たな人材の育成を図るとともに、新しい産業に取り組む起業家を支援する必要があります。

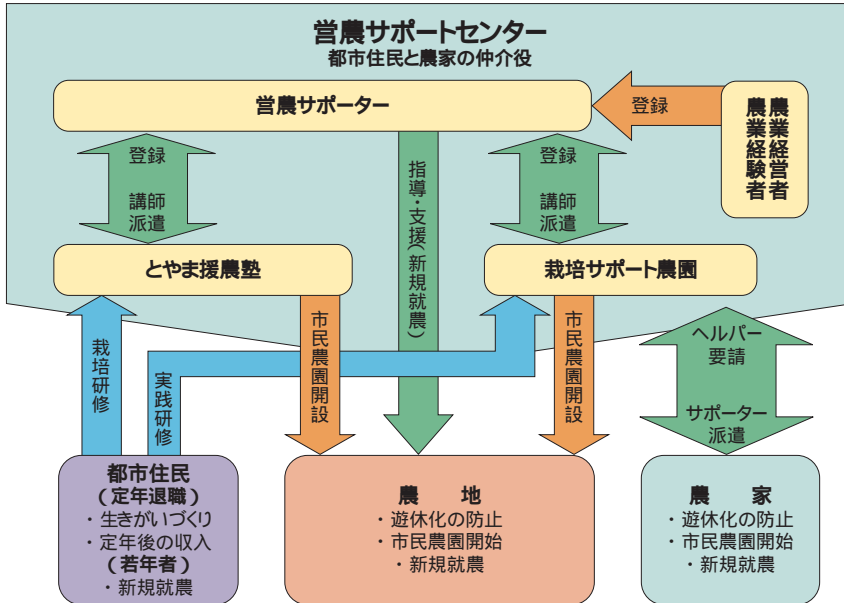
農業就業人口と年齢別割合



**1 ICT 情報(通信)技術。**情報通信技術からその応用利用場面まで広く使用され、コンピュータやインターネットの進化と広がり、工学的技術から企業経営、人文・社会科学、コミュニケーションまでその応用範囲を広げている技術・手法を総称していう(Information (and Communication) Technology)。

**2 ベンチャー企業** 新技術や高度な知識を軸に、大企業では実施しにくい創造的・革新的な経営を展開する小企業。

## 営農サポートセンター概要



## 目標とする指標

指標とその説明	基準数値(年度等)	23年度目標数値	目標設定の考え方
<b>営農サポーター<sup>3</sup>登録数</b> 営農サポートセンターに登録した 営農サポーターの人数	40人 (18年度)	250人	とやま援農塾の受講者に呼びかけ、約7割の登録者の確保を目指す。
<b>認定農業者等が占める経営面積比率</b> 市内の耕地面積のうち、 認定農業者等の経営面積の割合	15% (17年度)	40%	富山市担い手育成総合支援協議会アクションプログラム・水田農業ビジョンの育成目標を基に年5ポイントアップを目指す。

## 施策の方向

### 各産業を支える人材育成

多様な企業等の連携により、産業を支える人材ネットワークの構築を促進するため、経営者の世代間や異業種間で交流する機会の創出に努めます。

また、農林漁業の活性化のため、高齢者・女性グループなど多様な担い手の確保に努めます。

農業については、大規模農家への農地の集積や集落営農の組織化・法人化により経営基盤の安定

した経営体の育成に努めるとともに、都市部の住民を対象とした営農サポーター制度の実施により新たな担い手の発掘に努めます。

林業については、着実な森林施業<sup>4</sup>を実施するため、森林組合や林業協業体との連携に努めるとともに、新たな担い手として、森林ボランティアの育成に努めます。

### 起業家への支援

ハイテク・ミニ企業団地やとやまインキュベータ・オフィスでは

<sup>3</sup> 営農サポーター 農作物の栽培指導や農家を支援する人。

<sup>4</sup> 森林施業 植栽(植林)、下刈り、除伐、間伐、伐採などを行うこと。



高度なものづくりや都市型産業の起業家を育成し、新産業支援センターでは成長分野の研究開発型ベンチャーの育成に努めます。

また、創業者支援資金融資制度や経営相談・指導などにより、資

金面・経営面の両面から創業支援に努めます。

さらに、創業後も、(財)富山県新世紀産業機構や商工会議所などの関係機関と連携を図りながら事業経営の支援に努めます。

## 市民に期待する役割

\* 営農サポーターや森林ボランティアの活動に参加し、担い手不足の農山村の産業を支援する。

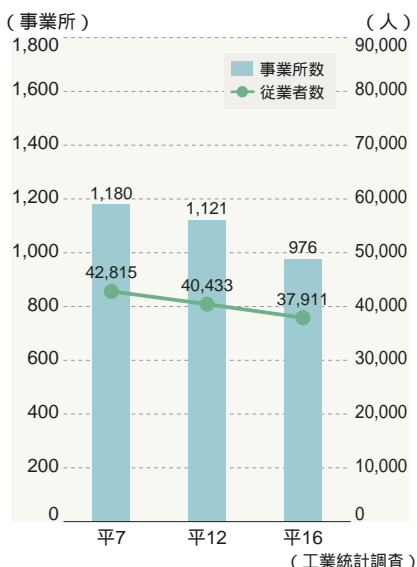
## 総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要(19～23年度)
とやま企業経営未来塾	公開セミナー、選抜者セミナーの開催	継続開催
担い手総合支援事業	農用地利用集積事業 農業法人育成事業	事業の継続実施
営農サポートセンター事業	とやま援農塾での栽培技術研修など	事業の継続実施

# 施策2 とやまの魅力と活力を築く ものづくり・しくみづくり

-4-2

富山市工業の事業所数、従業者数の推移



## 現状と課題

本市の工業は、豊富な電力、水資源と勤勉な労働力を背景としながら、医薬品等の化学工業を始め一般機械、電子部品などの製造業を中心に、その優れた技術と事業所の集積により日本海側有数の工業都市として発展してきましたが、近年は産業構造の変化などにより、事業所数が減少傾向にあります。

今後は、設備の高度化や優れた人材の育成・確保などによる経営基盤の強化や、独創的な新技術・新商品の開発などによる経営革新が必要となっています。

また中小企業においては、中小企業同士がお互いの技術や知識を補完しあいながら、また大学や産業支援機関とも連携することにより、技術の高度化や製品の高付加価値化を図るなど、新たな価値の創出が求められています。

一方、本市の農林漁業は、兼業率が高く担い手も高齢化していることから、低コスト化と省力化を図るとともに、地域社会を維持しながら将来に持続できる環境保全に配慮した生産活動などを一層推進することが必要となっています。

地域の顔となる商店街については、後継者不足や施設の老朽化、大型店との競合など厳しい環境にあり、魅力ある商業空間をどのように創出し、賑わいを取り戻していくかが課題となっています。

また、地域特有の課題を、地域住民が中心となり、地域の資源で解決する、コミュニティビジネス<sup>5</sup>への関心が高まっていることから、地域での新たな産業の創出機運を高め、起業への取り組みを支援する必要があります。

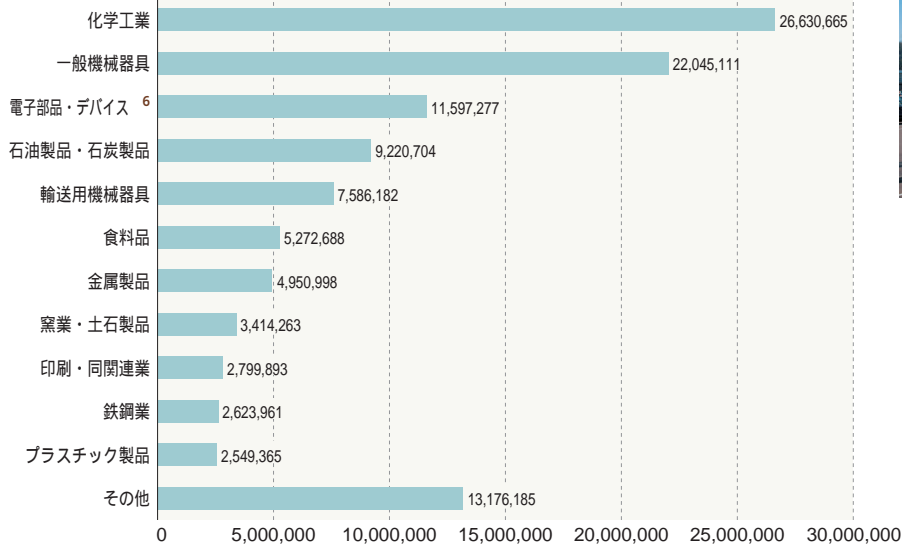
個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

**5 コミュニティビジネス** 地域の人材や、施設、資金などの資源を活用し、地域における新たな創業や雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、ビジネスの手法で地域コミュニティの活性化に取り組むもの。

## 平成16年産業中分類別製品出荷額等

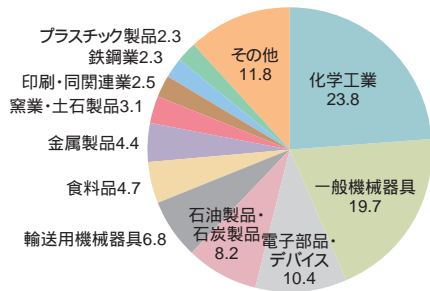
製造品出荷額 計111,867,292万円

(万円)



割合

(%)



(工業統計調査)

## 富山市商業の事業所数

(事業所)

	総数			卸売業			小売業		
	平成11年度	平成14年度	平成16年度	平成11年度	平成14年度	平成16年度	平成11年度	平成14年度	平成16年度
富山市	7,634	7,025	6,716	1,934	1,719	1,757	5,700	5,306	4,959
富山地域	6,619	6,049	5,797	1,851	1,641	1,675	4,768	4,408	4,122
大沢野地域	219	192	178	16	13	16	203	179	162
大山地域	102	90	85	8	5	7	94	85	78
八尾地域	318	291	288	23	24	26	295	267	262
婦中地域	324	361	326	34	34	30	290	327	296
山田地域	16	14	10	1	1	1	15	13	9
細入地域	36	28	32	1	1	2	35	27	30

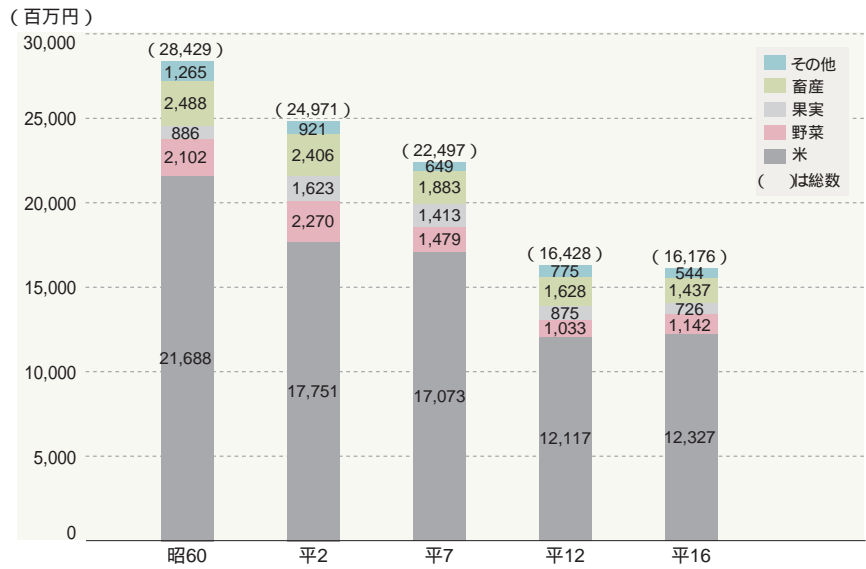
(商業統計調査)

個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

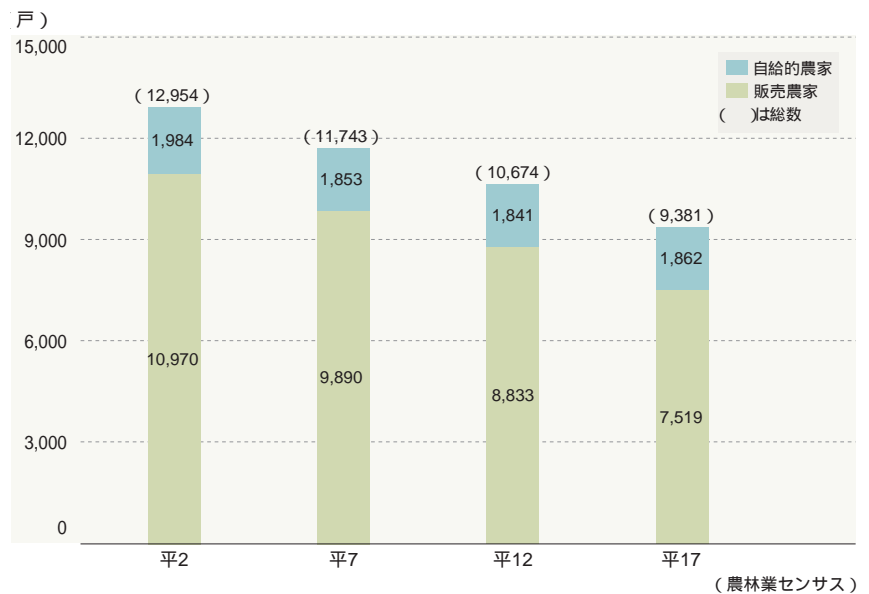
**6 デバイス** コンピュータに搭載される装置や接続される周辺機器。



### 農業粗生産額の推移



### 農家数の推移

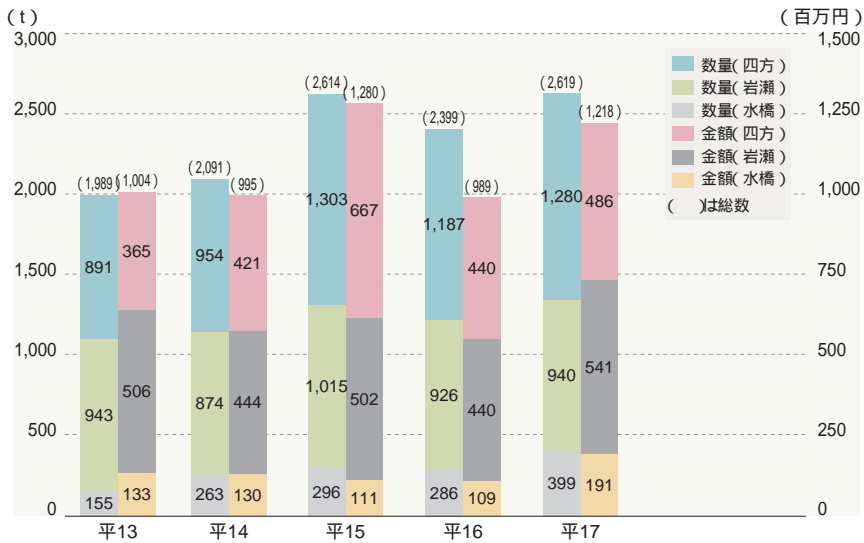


### 平成16年林産物素材生産量 (千㎡)

都道府県	全国順位	林産物素材生産量
全国計	-	15,615
石川県	33	102
福井県	35	97
富山県	42	41

(農林水産省統計表)

## 漁港別漁獲高



## 目標とする指標

指標とその説明	基準数値(年度等)	23年度目標数値	目標設定の考え方
<b>製造品出荷額等</b> 工業統計における従業員4人以上の事業所の年間製造品出荷額等	11,187億円 (16年)	13,750億円	産業の振興を図り、年平均3%程度の増を目指す。
<b>高品質米の生産比率</b> 米の生産における1等米の比率	76% (17年)	95%	本市の農業の中心をなす米の高品質化を図るため、水田農業ビジョンに基づき高い11等米比率を目指す。
<b>転作面積にかかる出荷大豆・麦、出荷野菜等の栽培面積率</b> 富山市の転作面積(水稲を作付けしない地目が田の面積)のうち、出荷大豆・麦・野菜の栽培面積の割合	24.4% (17年)	30.0%	調整水田などから大豆・麦・野菜等の栽培に毎年35haずつ移行を目指す。
<b>地域材使用量</b> 森林組合等へ搬入された市内産木材の量	1,300m <sup>3</sup> (17年)	2,400m <sup>3</sup>	地域材の活用促進に努め、毎年約200m <sup>3</sup> の使用量の増加を目指す。
<b>年間漁獲量</b> 港勢調査による水橋、岩瀬、四方漁港の水揚げ	2,610t (11~17年の平均)	2,730t	放流事業などの推進により、漁獲量の増を目指す。

## 施策の方向

### 工業振興ビジョンの策定

工業都市としての産業基盤をさらに発展させ、地域経済の活性化と雇用機会の確保を図るため、本

市の産業動向や地域資源、支援施策などへのニーズなどを調査・分析し、地域特性も考慮しながら、今後の工業振興施策の指針となる





ビジョンを策定します。

#### 中小企業の経営基盤安定・強化への支援

中小企業の経営基盤の安定・強化においては、金融・経営指導の両面にわたる対策の強化が必要であることから、景気の動向や中小企業者のニーズを的確に捉えながら、中小企業向け融資制度や経営指導・経営相談業務の充実に努めます。また、産業支援機関とも連携しながら、技術開発や経営革新、人材育成に向けた取り組みに対して支援します。

#### 地域に根ざした農林漁業への支援

##### 地場産品の高付加価値化

地場産品をPRする拠点を設置し、それぞれのネットワーク化を図るとともに、農産加工品の生産販売を支援します。

##### 農山漁村の活性化

農山漁村の活性化を図るため、都市部の住民との交流を行うグリーンツーリズム<sup>7</sup>などの取り組みを推進します。

さらに、大都市圏の人々が、本市の豊かな自然やおもてなしの心に触れることにより、交流人口の増加から、定住人口の増加につながるよう努めます。

##### 農業基盤の整備

農業生産基盤を整備するため、生産体制の組織化や、農業用機械・施設の共同利用、直播栽培<sup>8</sup>の推進など低コスト化、省力化に対する取り組みに加え、水田農業の生産工程を分業・専門化する分業共益農業<sup>9</sup>を推進します。

農業経営の安定化のため、米の計画的生産により水稻を作付けし

ない水田に大豆・麦・野菜の栽培を推進するとともに、果樹や花きの生産量の拡大に努めます。また、環境にやさしい農業を推進するとともに、新たな栽培技術や新品種の開発により、特色ある農産物の産地化を推進します。

中山間地域<sup>10</sup>では、狭小な集落における営農体制づくりを支援するため、集落一農場方式<sup>11</sup>を推進するとともに、立地特性を生かした作物を調査・試験し、特産品化することにより、地域の活性化を推進し、耕作放棄地の拡大を防ぎます。

また、土地改良施設の適正な維持管理に努めるとともに、安定した農業用水の利用と農業集落の環境保全への活用を図るため、用排水施設の整備を行います。

##### 畜産基盤の整備

効率的な畜産経営を推進するため、畜舎や家畜排泄物処理施設の整備を支援するとともに、排泄物を堆肥としてリサイクルし、環境にやさしい有機農業を推進します。

##### 林業基盤の整備

本市の広大な森林を着実に整備するため、林道や作業道、高性能機械施設を整備し、的確な森林施業を効率的に推進します。

また、間伐材を含めた地域材の需要拡大を図るため、個人住宅を地域材で建築することに対し補助するなど、地域材の活用促進に努めます。

##### 漁業基盤の整備

安全で円滑な操業環境を整備するため、護岸改良や荷捌所を整備するとともに、漁業者や地域住民

**7グリーンツーリズム** 緑豊かな農山漁村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

**8直播栽培** 水稻の種もみを直接田にまく栽培方法。直播は、種もみを育ててから植える移植栽培と比較し、設備投資や管理の手間が少なく、また、移植栽培とは収穫時期がずれるため、作業時期を分散できる。

**9分業共益農業** 高い兼業率で、高齢化が進み、稲作農業が基幹となっている富山市の農業の現状を踏まえ、多様な経営体に農地の集積を図り、生産工程を分業・専門化し、兼業農家や高齢者など集落の構成員それぞれが利益を分配する農業。

**10中山間地域** 山間地とその周辺の地域を指す。全国の森林の約8割、農地の4割が中山間地域にあり、一般に傾斜地が多いなど農業生産条件は不利だが、国土の保全、水資源の涵養などの多くの機能を有している地域。

**11集落一農場方式** 国が進める農業経営の安定対策の対象とするため、狭小な複数の集落を1つの経営体とし、小規模農業の持続的振興を図る方式。

の憩いの場として親しまれる漁港環境の改善に努めます。

また、漁業資源が将来にわたって枯渇しないよう、資源管理型漁業<sup>12</sup>を推進し、源流から海まで一体となった漁業資源の確保に努めます。

#### 商店街の活性化

##### 中心商店街の活性化

中心市街地の商店街の活性化には、郊外大型店舗にはない、きめ細かな顧客サービスや、選び抜かれた商品の販売などが必要であることから、魅力ある商業空間を形成し、個店の魅力向上を図る取り組みに対し支援します。

また、商店街への来街者の滞留時間の延長を図るため、賑わい拠点の創出に努めます。

##### 地域商店街の活性化

地域の商店街の活性化と賑わいづくりを推進するため、地域の特性を生かした個性ある取り組みに対して支援します。

また、積極的に活動を展開する商店街には、実験的に行う活性化事業などに対して支援し、地域商店街の維持・再生を図ります。

##### コミュニティビジネス創業機運の醸成

コミュニティビジネスの創業機運を醸成するため、若手起業家や後継者を対象に、コミュニティビジネス経営者などを講師としたセミナーを開催し、地域での普及・啓発に努めるとともに、NPO<sup>13</sup>などとも連携しながら事業化への取り組みを支援します。

## 市民に期待する役割

- \* 生産者は安全な地場産品の供給に努める。
- \* 地場産品についての理解を深め、購入に努める。
- \* 生活用品は、なるべく地元の商店で購入するよう努める。

<sup>12</sup>資源管理型漁業 地域や魚種ごとの資源状態に応じた資源管理を行うとともに、漁獲物の付加価値向上などにより、将来にわたって漁業経営の安定、発展を目指す漁業。

<sup>13</sup>NPO 政府・自治体や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体。特定非営利活動法人。非営利組織。非営利団体(Non Profit Organization)。

## 総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要(19～23年度)
工業振興ビジョンの策定		ビジョンの策定
富山とれたてネットワーク事業	各地域でのサテライトショップ <sup>14</sup> の設置 7箇所	ネットワーク事業展開 地産地消 <sup>15</sup> 推進拠点の設置
都市農山漁村交流推進事業	グリーンツーリズム重点推進地区 4箇所	グリーンツーリズム重点推進地区 14箇所
集落営農促進対策事業	営農組織数 109組織	営農組織数 134組織
大豆・麦等の生産拡大事業	出荷大豆・麦・野菜等面積908ha	出荷大豆・麦・野菜等面積1,116ha
中山間地域特産品開発事業	展示圃の設置 栽培調査品目数 5品目	栽培調査品目数 15品目
農業環境対策事業 (再掲Ⅱ-2-3)	整備延長 69.3km	整備延長 74.3km (延長5.0kmの整備)
畜産基盤再編総合整備事業		畜舎、堆肥舎の整備など
森林整備事業 (再掲Ⅱ-4-1)	森林整備面積 165ha/年間	森林整備面積 200ha/年間
地域材活用促進事業	地域材使用住宅への補助	事業の継続実施
漁港施設整備事業	駐車場用地舗装工事 臨港道路新設工事 など	護岸改良、臨港道路工事、荷捌所整備、 緑地広場整備

**14 サテライトショップ** 各地域の特色ある地場農林水産物の販売促進活動を市域全体で一体的に行うために設置するPR拠点。

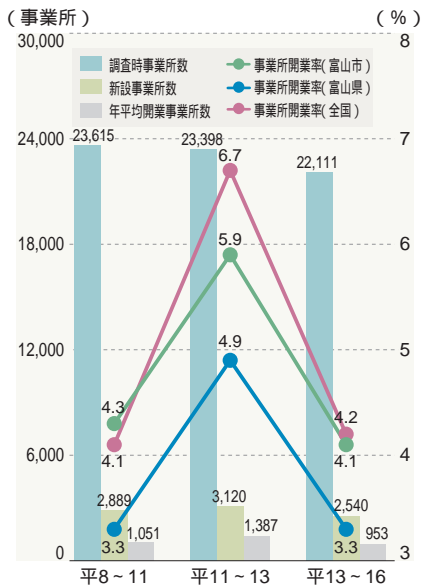
**15 地産地消** 地域で生産されたものを、地域で消費すること。食の安全性、低い食料自給率、農林水産業の縮小化傾向の問題などから、「地場産品」を見直し、地域の活性化を図ろうという運動。

# 施策3 とやまの未来を拓く 新産業・新事業の創造

- 4 - 3

## 現状と課題

富山市の開業率の推移



本市の産業環境は、医薬品や機械部品、電気機械などの製造業を中心とした産業集積を背景に技術や人材が豊富であり、さらに、大学や産業支援機関が集積しており研究成果のビジネス化が期待されるなど、新産業の育成に適した基盤を有しています。

本市では、ハイテク・ミニ企業団地や、とやまインキュベータ・オフィスなどで創業支援に努めてきましたが、事業所開業率は全国平均を下回っており、産業全体として新事業創出の動きは鈍い状況にあります。

このことから、新産業支援センターを整備し、産学官連携により大学等の優れた研究成果の事業化を支援するなど、創業者やベンチャー企業などの育成に取り組んでいます。

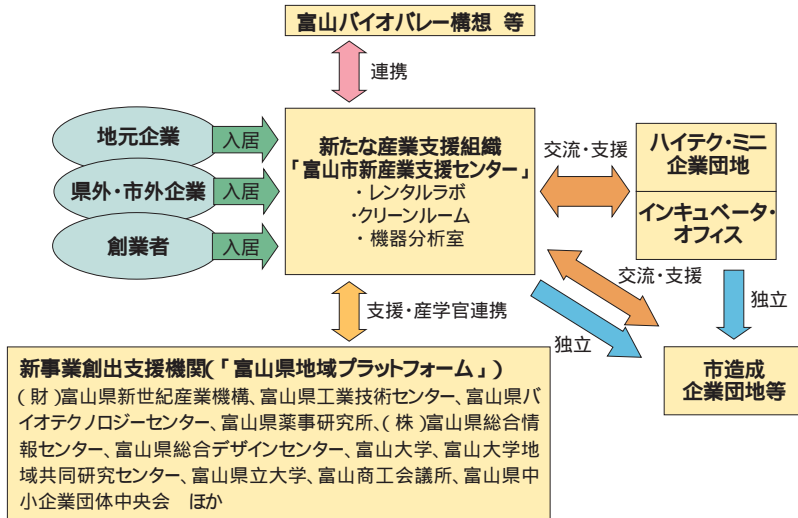
また、本市では企業団地の造成により、多くの企業が立地していますが、今後さらに、新たな研究開発に取り組む個性的な企業の誘致を推進するなど、新しい価値を生み出す新事業の創出に向けた取り組みが重要となっています。

## 目標とする指標

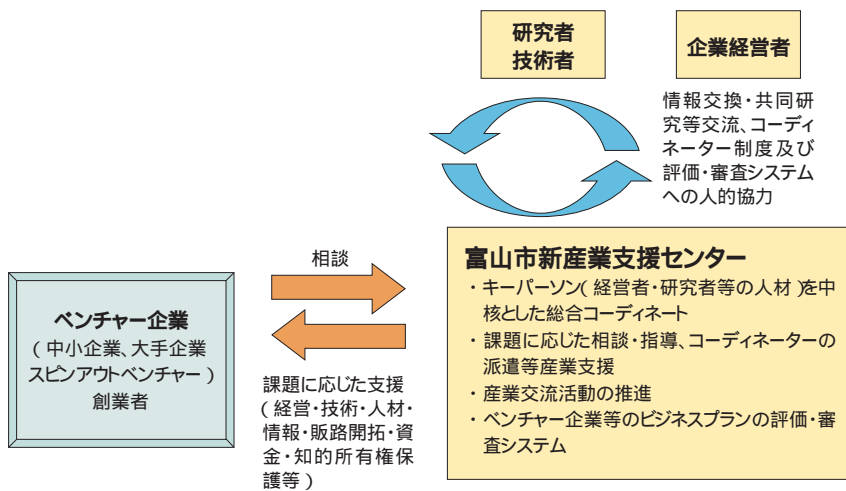
指標とその説明	基準数値(年度等)	23年度目標数値	目標設定の考え方
<b>事業所の新規開業率</b> 事業所統計における新規開業率(全産業)	4.1% (16年)	5.0%	新規開設の事業所数増により新規開業率の増加を目指す。
<b>新規事業所開設による雇用者数</b> 事業所統計における新設事業所の年平均就業者数(全産業)	7,895人 (13～16年の平均)	9,500人	新規事業所の開設を推進し、約20%の増加を目指す。

個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

## ハイテク都市形成のイメージ



## 富山市における産業支援体制



個性と創造性に満ちた活力あふれるまち



## 工業団地・卸商業団地等一覧

	団地名	組合並びに協議会設立年	所在地	面積 (㎡)	立地企業数
1	富山機械工業センター(協)	昭和35年	新庄本町及び向新庄町地内	119,572	19
2	(協)富山問屋センター	昭和37年	問屋町地内	207,609	48
3	(協)富山木工団地	昭和37年	下赤江町地内	27,437	14
4	富山市第二機械工業センター(協)	昭和42年	古寺及び流杉地内	65,535	12
5	富山市第三機械工業センター(協)	昭和44年	水橋伊勢屋地内	108,330	6
6	富山企業団地(協)	昭和48年	水橋三郷地内	295,278	33
7	(協)富山トラック輸送センター	昭和52年	上野地内	24,844	22
8	富山流通団地(協)	昭和55年	八日町地内	43,844	21
9	(協)とやまオムニパーク	昭和60年	南央町地内	130,555	21
10	富山市ハイテク・ミニ企業団地	平成2年	今市地内	18,210	29
11	四方テクニカルパーク	平成3年	四方荒屋地内	46,820	21
12	草島工業団地	平成6年	草島古川地内	78,825	13
13	水橋リバーサイドパーク	平成6年	水橋肘崎及び水橋市田袋地内	138,961	10
14	上条工業団地	平成7年	水橋石割及び水橋田伏、水橋北馬場地内	135,447	6
15	金屋企業団地	平成11年	金屋地内	254,464	26
16	大沢野機械工業センター(協)	昭和35年	高内地内	95,300	6
17	中大久保企業団地	平成7年	中大久保地内	189,474	23
18	八尾機械工業センター(協)	昭和35年	八尾町福島地内	33,275	7
19	富山八尾中核工業団地	昭和60年	八尾町保内地内	1,939,314	28
20	婦中機械工業センター(協)	昭和45年	婦中町神保地内	140,219	5
21	婦中铁工団地(協)	昭和45年	婦中町熊野地内	90,812	12
22	宮野工業団地(協)	昭和50年	婦中町宮野地内	176,000	8
23	婦中企業団地(協)	平成元年	婦中町中名及び道場地内	315,298	28
24	婦中町臨空工業団地	-	婦中町板倉及び増田、添島地内	375,000	10
25	富山イノベーションパーク	平成10年	婦中町島本郷地内	191,901	12
26	西本郷企業団地	-	婦中町西本郷地内	58,281	4

個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

## 現状と課題

### 新たな産業の育成

レンタルラボ<sup>16</sup>などを備えた新産業支援センターにおいて、大学や産業支援機関などの関係機関と連携しながら、医薬バイオ・ナノテク<sup>17</sup>・ITなど成長分野の研究開発型ベンチャーの育成に努めます。

また、このセンターを拠点として、ハイテク・ミニ企業団地やと

やまインキュベータ・オフィスと連携を図りながら、高度なものづくりや都市型産業の育成に努めます。

さらに、ベンチャー企業等の研究開発や事業化の各段階における経営課題の解決を支援するため、(財)富山県新世紀産業機構などと連携し、融資制度・公的支援の相談情報提供を行うとともに、技術や

<sup>16</sup>レンタルラボ 医薬バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、IT、環境など、今後成長が期待される新産業を育成するため、研究開発型ベンチャーや創業者、新たな事業化を目指す企業の支援を目的とした施設。

<sup>17</sup>ナノテク ナノテクノロジーの略。ナノ(10億分の1)メートルの精度を扱う技術の総称で、マイクロ・マシンなどの加工・計測技術だけでなく、新素材の開発なども含める。

製品の販路開拓を支援します。

#### 企業立地の促進

雇用機会の拡大による地域経済の活性化を図るため、新たに整備する呉羽南部企業団地をはじめ、

それぞれの企業団地の立地特性に応じた産業・業種の集積を図るとともに、先端技術企業や研究開発型企業の誘致に努めます。



## 市民に期待する役割

\* 知識や技能等を生かして、新たな事業に取り組む。

## 総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要(19～23年度)
新産業支援事業	新産業支援センターの整備	支援事業の実施